

| | | | |
|---|--|------|-------|
| クラス | TU103 | 担当教員 | 勅使 千鶴 |
| テーマ | 保育所・幼稚園における実践研究－あそび・課業・行事を中心に－ | | |
| 著書・論文 | 著書：『子どもの発達とあそびの指導』（単著）ひとなる書房、1999年。 『子どもたちの四季』（宍戸洋子と共著）ひとなる書房、1990年。 『3歳 「いれて」「いいよ」っていえるよ』（木村和子と共著）ひとなる書房、1992年。 『3歳児のあそび』（久米房子と共著）旬報社、1994年。 | | |
| 研究課題等 | 論文：『韓国の保育教師養成および補習教育の現状と課題』『日本福祉大学 子ども発達学論集』2011年。 | | |
| ゼミナール概要 | | | |
| キーワード：保育内容・方法、保育実践、あそび、課業（美術、音楽、体育、ことば・絵本など）、行事 | | | |
| <p>< 目的 ></p> <p>2009年4月、保育内容・方法を示す『保育所保育指針』・『幼稚園教育要領』が改定（改訂）され、3年が終わろうとしています。改定作業のなかで、今日の子どもの体力測定の結果、幼児期の発達にとってのあそびの大切さと保育所や幼稚園で行われている「保育の質の向上」、「保育者の資質の向上」が強調されています。この傾向は、OECD（経済開発援助機構）所属のヨーロッパの国々、アメリカ、ニュージーランドや韓国でも指摘されています。また、最近では、「保育者の専門性」についても討論されています。</p> <p>本ゼミでは、保育内容や方法の背景にある最近の保育界の潮流を敏感に受け止め、世界的な動向にも目を向け、先達の保育実践を大切にしながら、保育実践の研究を進めます。「保育の質の向上」に貢献できる保育実践の検討を実践記録書、ビデオや幼稚園・保育所の生の保育実践を追求したいと考えています。</p> <p><ゼミの内容・方法></p> <ol style="list-style-type: none"> ①『子どもの発達とあそびの指導』の内容を検討し、実践を分析します。 ②あそび、課業、行事などについてのビデオの記録と実践記録書、保育現場の生の実践分析に挑戦します。 ③幼稚園や保育所の施設・設備とともに実践を見学し、集中討論のために合宿をします。 ④具体的なゼミの進め方は、皆さんと一っしょに決めます。 <p><履修上の注意></p> <ol style="list-style-type: none"> ①楽しくゼミを進めるために、ゼミの時間には遅れないで出席します。無断欠席は厳禁です。 ②夏と春に全員出席で保育所・幼稚園の見学や集中討論をするため合宿をします。日程や費用などの用意はこれから準備してください（ちなみに、2011年9月は、先方の都合で見学を延期し、篠島で合宿形式の集中討論をしました。2月に合宿を予定しています）。 ③ゼミを始める前に子どもの把握や子どもと仲良くなる方法のひとつとして腹話術の講習会をします。全員が参加できる日程を決めるため、集まりをもつ予定です。掲示に気をつけて下さい。春休みに人形を作る（だれかに作ってもらう）ためでもあります。 ④あなたの周りの乳幼児と遊ぶなどをしてできるだけ子どもとの接触を持ってください。春休みに保育所や幼稚園で手伝いをするのも一方法です。 ⑤テキストに挙げた『子どもの発達とあそびの指導』は第1回のゼミの時間までにまとめてください。 <p><使用テキスト></p> <p>勅使千鶴『子どもの発達とあそびの指導』（ひとなる書房、1999年）、その他、参考文献、実践記録を提示します。</p> | | | |
| 担当教員からのメッセージ | | | |
| <p>将来、幼稚園教諭、保育所保育士を希望する人は、一っしょに保育の学習・研究をしましょう。学習・研究を深めるためにはゼミのメンバーの仲間づくりは欠かせません。</p> <p>また、腹話術やパソコン等の実務力を身につけると便利なので、一っしょにこれらの技術を獲得しましょう。ゼミ活動を通して、ゼミ員同士の人間関係が深まることを期待しています。4年生からもいろいろ知識や知恵を得るために、交流会もします。</p> | | | |